

工業分野に高級貼箱を提案

シャープな角、フラットな面を持つ「iBox」

愛星パック株式会社

愛星パック（愛知県一宮市）は、スマートフォンなどで採用されている丸みのないシャープな貼箱「iBox」を出展した。2019年にフリーダム（広島県安芸高田市）から貼箱製造設備を導入し、これまでの設備ではできなかったフラップ跡のない、深折り込みの形状の貼箱が提供できるようになった。工業分野や健康食品などをターゲットに新規需要の開拓をめざす。

同社は、1993年の創業以来、一貫して高級貼箱の製造を行ってきた。意匠性に優れたダイカットボックスを得意とし、全国の有名菓子店やホテルなどへの採用も多い。2017年頃から、主力の菓子箱以外の市場開拓に乗り出し、iBox製造ラインの導入に至った。

星野雅昭社長は、時には機械設計にも関わるほど技術への強いこだわりを持つ。フリーダムが販売する中国製の設備を導入した際は、同業者の間で話題になった。星野社長に設備への評価を聞くと「貼箱の生産設備の市場は、



iBox (2020年1月に商標登録済)



東京パックのブース

日本、ヨーロッパ、中国の三極構造となっている。貼箱の市場に関しては、中国マシンのレベルは非常に高くなっており、十分に設備導入の選択肢になる」と評価する。また、「付加価値の高い貼箱は、設備を入れたから作れるようになるものではない。それだからこそチャンスがある」とも話す。

「優れた設備に人のノウハウを組み合わせることが差別化につながる。もし『100%の機械』が存在したら、どこがやっても同じことになってしまう」と星野社長は強調する。

愛星パック株
愛知県一宮市奥町字郷浦57/
☎0586-52-6485 / FAX: 0586-52-6486